

# チューリップ 四季だより



2015  
Vol.67

上段：オランダ風花壇（2014年の様子）  
中段：600品種花壇(2014年の様子)※2015年は650品種  
下段左：水上花壇（2014年の様子）  
下段右：フラワーヒル（今年6年ぶりに復活）

# 世界で唯一の美しさを目指して

「オランダ風花壇」での取り組み

(公財) 砺波市花と緑と文化の財団

チューリップス四季彩館管理係 渡部 哲次

砺波チューリップ公園内の砺波市美術館南側に広がる「オランダ風花壇」は、芝生や樹木を配した自然風の景観の中で、チューリップなどを楽しめる空間作りを目指して平成九年に誕生しました。特にチューリップの時期には、林床にチューリップを主とした草花を植栽し、ご覧いただいています。この場所を平成二十三年のとなみチューリップフェア六十回を機に、これまで以上の美しさへと導くために、砺波市の姉妹都市であるチューリップ栽培の本場オランダ・リッセ市にあるヨーロッパを代表するキューケンホフ公園と交流を深め、植栽方法などに磨きをかけてきました。

この場所の植栽を試行錯誤する中



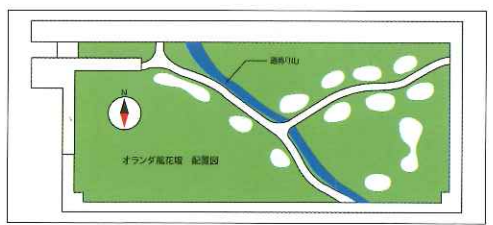
オランダ風2013会期前半



オランダ風2013会期後半

で、最後まで課題として残ったのが、この場所の中央に、園路に沿うように伸びる「川」です。当初はキューケンホフ公園に倣い、ムスカリを植栽していましたが、何かが違う、この場所の雰囲気と合わないのです。この想いを胸にキューケンホフ公園へ足を運びました。そこで、決定的な違いを目の当たりにしたのです。それは、ムスカリで表現される「川」は園路と交わるように植栽されている点でした。そこで、現在の「川」の形状を変えずに、最も美しく演出する植え方を模索しました。当初は、闇雲にチューリップだけを植えてみたり、様々な草花の組み合わせを試みたりしましたが、落ち着きのない感じが否めませんでした。そこで思いついたのが、単一の草花ではなく、チューリップを含むムスカリよりも草丈のある複数の草花で構成し、園路に沿う形状にも合う「リボン花壇」という手法でした。加えて、ムスカリはチューリップとの映りは良いのですが、チ

ューリップフェアの後半に見頃になる遅咲きのチューリップと組み合わせ合わせた場合に、ムスカリの花が色あせてくるのが問題となりました。そこで、チューリップと映りの良い、他の青い花を探索しはじめました。その候補の中にワスレナグサも存在していたのですが、切花向けの品種では草丈が高くなりすぎ、また、花壇用の品種では花色が淡く、チューリップとの映りが悪いなど、なかなか良い品種が見いだせませんでした。しかし、ドワーフブルーという、この場所に最適な品種と出会い、種をまく時期を工夫し、チューリップフェアの時期に見頃になるよう育てることができました。また、組み合わせるチューリップも毎年、違った目線でご覧頂けるよう、色や花型の組み合わせを変えて、植栽しています。世界に七千品種以上あるチューリップの中から的確な品種選択など、フェアの期間に、チューリップが持つ全ての力を引き出し、花が咲くよう組み合わせ



オランダ風花壇

と映りの良い、他の青い花を探索しはじめました。その候補の中にワスレナグサも存在していたのですが、切花向けの品種では草丈が高くなりすぎ、また、花壇用の品種では花色が淡く、チューリップとの映りが悪いなど、なかなか良い品種が見いだせませんでした。しかし、ドワーフブルーという、この場所に最適な品種と出会い、種をまく時期を工夫し、チューリップフェアの時期に見頃になるよう育てることができました。また、組み合わせるチューリップも毎年、違った目線でご覧頂けるよう、色や花型の組み合わせを変えて、植栽しています。世界に七千品種以上あるチューリップの中から的確な品種選択など、フェアの期間に、チューリップが持つ全ての力を引き出し、花が咲くよう組み合わせ

ユールリップフェアの後半に見頃になる遅咲きのチューリップと組み合わせ合わせた場合に、ムスカリの花が色あせてくるのが問題となりました。そこで、チューリップと映りの良い、他の青い花を探索しはじめました。その候補の中にワスレナグサも存在していたのですが、切花向けの品種では草丈が高くなりすぎ、また、花壇用の品種では花色が淡く、チューリップとの映りが悪いなど、なかなか良い品種が見いだせませんでした。しかし、ドワーフブルーという、この場所に最適な品種と出会い、種をまく時期を工夫し、チューリップフェアの時期に見頃になるよう育てることができました。また、組み合わせるチューリップも毎年、違った目線でご覧頂けるよう、色や花型の組み合わせを変えて、植栽しています。世界に七千品種以上あるチューリップの中から的確な品種選択など、フェアの期間に、チューリップが持つ全ての力を引き出し、花が咲くよう組み合わせ



ワスレナグサ ドワーフブルー



イエロースプリンググリーン

合わせることを心がけています。今年には、爽やかな色合いが特徴の「イエロースプリンググリーン」と、様々な花型の白いチューリップがワスレナグサの上に咲き揃うよう組み合わせ、チューリップ四季彩館ガーデナーの皆さんと植えました。色とりどりのチューリップが競うように咲く会場の中で、一服の清涼剤のように感じていただけただけならば光栄です。更に、これにとどまることなく研鑽を積み重ねて、チューリップ球根産地である砺波市ならではの、世界で唯一の美しさを目指し、進んでいこうと考えています。

となみチューリップフェア会場づくりに市民が活躍

## 「となみオリジナル」 水耕栽培で咲かせる「水上花壇」



皮むき

培に適しているとは言えませんが、水上花壇の品種数を増やすべく、毎年、数品種を試験的に栽培しています。

また、栽培方法についても、球根の保存環境や栽培開始の時期などさまざまな工夫をしています。そして、従来の発泡スチロール製の板に穴を開けただけの浮き板ではなく、球根の発根部が直接水に

着かないように、穴の大きさを変えた複数の板を組み合わせた専用の浮き板を考案しました。この浮き板を使用することにより、球根の腐敗や発根の障害が格段に減り、球根がしっかりと固定されているため開花したときに倒れることもなくなりました。

近年ではチューリップタワーや文化会館屋上のパノラマテラスからの眺望を意識し、花型やハート型などバラエティーに富んだ形状の花壇を楽しんでいただけます。

650品種花壇、チューリップ

で地上絵を描く大花壇、球根生産のため摘み取った花で壁画を作るデコレーションパネルなど「チューリップの砺波」ならではの魅せ方にこだわった会場づくりを信条としています。

今回はそのなかでも砺波で発案された花壇である「水上花壇」についてご紹介いたします。

ヒアシンスの水栽培は小学校などでご覧になった経験があるのではないでしょうか。

チューリップもヒアシンスと同じユリ科の球根植物であり、水栽培で育てることができます。とは言え、全てのチューリップが水栽



球根を浮き板にセット

### チューリップの水栽培の

### 水栽培の二口メモ

チューリップで水栽培する場合、発根の妨げにならないように球根の皮をむきます。

土に植え込むときに皮はむきません。皮には生育に適していない時期（掘り上げてから植えるまで）や植えてから生育適温になるまで）に外部から球根を守る役割があります。

### ■写真

今回は四季彩館ガーデナーのみなさんにご協力いただきました



水上花壇

# 2015となみチューリップフェア チューリップ四季彩館 みどころ

## チューリップテラス

### 「美しい島・台湾」～春の夢～

平成27年度は、Yokoso Tonami Campaignの一環として、一年を通して「美しい島、台湾」をテーマに、台湾をイメージした造作物と花で装飾します。

第1弾は「春の夢」と題して、チューリップを中心に展示を展開します。

1926年に発表され、咲き始めの花色が緑色1色であることから珍重されているものの、古い品種であることから生産が皆無で入手が非常に難しい「フォルモーサ」(ポルトガル語で「台湾」を意味する)を展示します。なお、チューリップフェア期間終了後(5月6日以降)は、チューリップ以外の草花を取り入れた展示となります。



## チューリップスクエア

世界で唯一、年中チューリップが咲いている場所

### 香りのあるチューリップ

バレリーナやプリンセスイレーネなど香りのあるチューリップが咲いています。



## チューリップミュージアム

### チューリップ博士になろう!

歴史、品種改良、球根のしくみや栽培方法などについて紹介しています。



## チューリップホール

### 春季特別企画展「わくわく! 北陸新幹線ワールド」

#### 内容紹介

- ☆1万本のチューリップと北陸新幹線を支える富山県企業の製品のコラボレーションが実現。
- ☆県内生産者の自慢のチューリップを集めた「切花品評会」を開催
- ☆平成26年の秋に皇室へ献上したチューリップの品種を紹介する「ロイヤルコレクション」を展示
- ☆富山県のチューリップ栽培100年まであと3年。カウントダウン企画「チューリップとともに～水野豊造とチューリップの100年～」を開催
- ☆特設「チューリップ球根予約販売所」を設置



「ロイヤルコレクション」 昨年の様子

「切花品評会」 昨年の様子

## チューリップフェア期間中のみどころ 富山県花総合センター(エシガガーデン)

開園時間 午前8時30分～午後5時

展示ホール 特別展示

### 花を奏でて～山の音楽家(ドイツ民謡)より～

ドイツ民謡「山の音楽家」の歌詞に出てくる、小リス(ヴァイオリン)、ウサギ(ピアノ)、小鳥(フルート)、タヌキ(太鼓)など動物や、木や花で装飾した楽器とともに音楽が溢れる春ののどかな森を表現します。

研修室

#### 「植物スケッチ講座作品展」

スイセンほ場

220品種のスイセンをお楽しみいただけます(4月中)

体験コーナー

- ①多肉植物の寄せ植え体験(フェア期間中の土日祝振休 500円)
- ②プリザーブドフラワーのアレンジメント体験(①と同様)

その他

花苗、多肉植物の販売(フェア期間中)

入園無料!



昨年の様子

お問合せ

〒939-1383 富山県砺波市高道46-3 電話 0763-32-1187 Fax 0763-32-1219



〒939-1381 富山県砺波市中村100-1

TEL(0763)33-7716 FAX(0763)33-0090

http://www.tulipfair.or.jp

チューリップ四季彩館 検索



2015年3月発行